

JFA タレントID(TID) システム ～トレセンデータ集約に向けて～

Japan Football Association

JFA



システム概要

概要

トレセン認定制度によって、一定以上の質の担保が約束されたトレセンを、どう活かしていくか？を検討した上で、「選手発掘」を目的に**全トレセン統一フォーマットの運用**を行い、上位トレセン・日本代表に繋がるシステムの構築

対象トレセン

- 都道府県トレセン / 地域トレセン

*ポジション別トレセン/連盟トレセン等も可能であれば入力をお願いします

**将来的には地区トレセンも対象視野に入れて検討中

新システムによるメリット

- 選手把握・発掘のサポート
- 統一フォーマットによる、他地域との比較。
将来/過去選手との比較による選手評価
- FA/地域/ナショナルトレセン間での連携（情報共有）
- 他地域への流入・流出に伴う選手把握の容易化
- 各トレセン参加時の評価と現評価の比較を通じて、選手個々の情報を把握し、個別性へのアプローチが可能
- パスウェイの履歴確認が可能

現状とシステム導入の狙い

- これまで各都道府県・地域の多くの指導者の尽力により日本サッカーを支えるトレセン制度が充実
- これをさらに発展させるため、現状抱える課題解決に向けた新たなシステムを導入

現状

01

評価基準のバラツキ



フォーマットが統一されていないため、同一基準での評価が困難（属人的な評価基準による選手選考）

02

選手履歴データの不足



選手個々の連続したデータの蓄積がないため、各年代における選手育成のアプローチの分析・検証が困難

03

データの属人化による問題



担当者のみがデータを保持することによりデータの在り処が不明瞭になるリスクや個人情報の漏洩リスクをはらむ

システム導入後

01

同一基準での評価



統一フォーマットを用い同じ物差しで選手把握
過去選手の評価データを参照することで年代間の評価バラツキを抑制

02

データに基づく施策構築



過去データ・選手履歴の継続的な蓄積・分析・検証を通じて、トレセン等の育成施策の質の向上を目指す

03

選手データの統一的な管理



他カテゴリ・過去データもタイムリーに閲覧可
システム内で管理することで個人情報も保護

新システムを活用し管理だけでなく、 パスウェイ/データを一元的に確認・検証し、様々な施策に活かすことが可能

JFA

基準
統一



長期的にデータを積み上げ、各地域・都道府県の特異性・地域差の把握

データ
活用



選手のパスウェイをビッグデータから分析し、各年代でのより効果的な育成施策を実行

統一的
管理



都道府県・地域・JFAの各評価結果の分析・検証による、評価項目・指標の精緻化

地域FA・都道府県FA

基準
統一



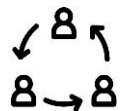
統一した基準の導入により、より客観的な評価でのトレセンへの選考が可能

データ
活用



過去評価・現評価との比較を通じて個々に適切なアプローチを実施

統一的
管理



カテゴリが変わった際の、関係者間でのよりスムーズな情報共有

熊本県トレセン対象者

カテゴリー	男子	女子	合計
U 11	120 <small>※9月から</small>	20	140
U 12	90	20	110
U 13	80	20	100
U 14	80	20	100
U 15	60	20	80
合計	430	100	530

- 年代別日本代表選手のデータは蓄積されている一方で、U12～14世代の体系的なデータは十分に整備されていない
- 代表に至るまでの成長過程は、これまで十分に可視化されてこなかった

これまで見えてなかった成長過程が可視化され、育成の質が変わる

NEXT MOCCOS フットボーラーの育成

— 熊本県サッカー協会 × 熊本保健科学大学 MOCCOS Red から Japan Blue へ —



スポーツ医科学支援事業

Sports Medicine / Science Support

フィットネスサポート

動作分析

ゲーム分析

NEXT MOCCOS

フィジカル・フィットネスアプローチ

世界で戦えるフィジカル・フィットネスの構築

1. 体力測定
2. トレセン・エリート活動サポート
3. 地域クラブサポート

スポーツ医科学研究事業

Sports Medicine / Science Research

熊本育成モデルの構築研究

障害発生リスクに関する研究

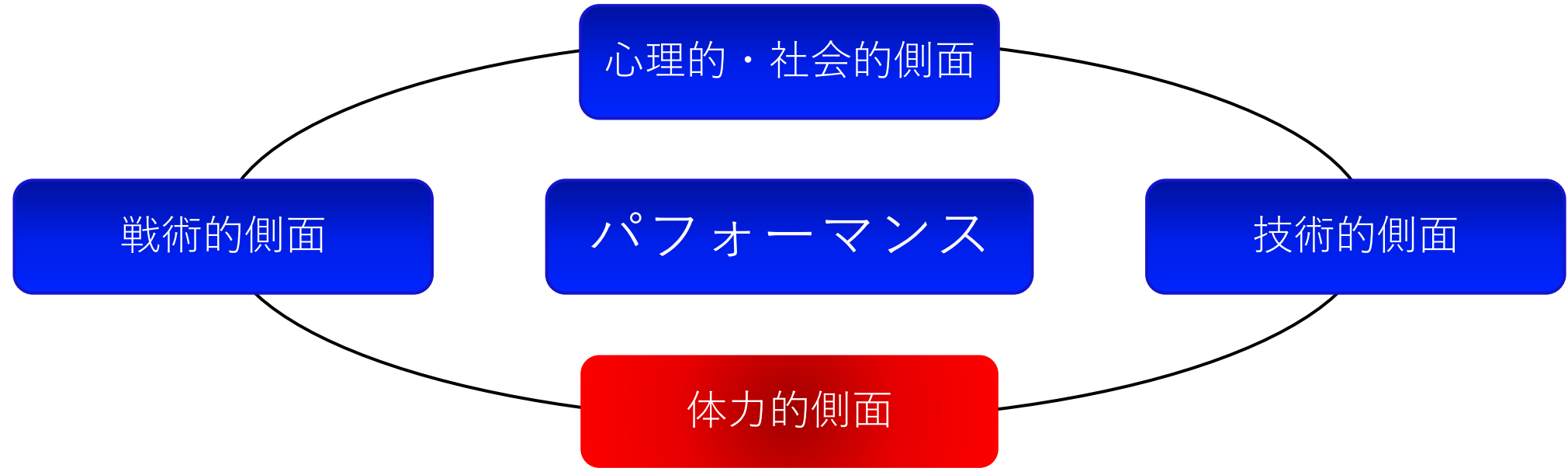
熊本FA育成プロジェクト NEXT MOCCOS

2050年
W杯 優勝

世界で戦えるフィジカルの構築

2030年
W杯 4強

— 個人の特性にあったフィジカル要素の向上 —



持久的
パフォーマンス

高強度運動
パフォーマンス

持久的
パフォーマンス

スプリント
パフォーマンス

筋発揮
パフォーマンス

体力測定

フィジカルフィットネスプロジェクト

データ分析

フィジカルフィットネスプロジェクト

測定種目および方法

■ スプリント：10m, 20m, 30m

■ 立ち幅跳び：両脚・片脚の水平距離

■ 5m×3方向変換走：5m×1往復走タイム

■ カウンタームーブメントジャンプ(CMJ)：両脚・片脚の跳躍高

■ Body Mass Index：体重[kg] / 身長[m]²

■ Peak High Velocity：最大発育速度年齢（身長・体重・座高）

■ 全身反応時間・体組成：体脂肪量・徐脂肪量

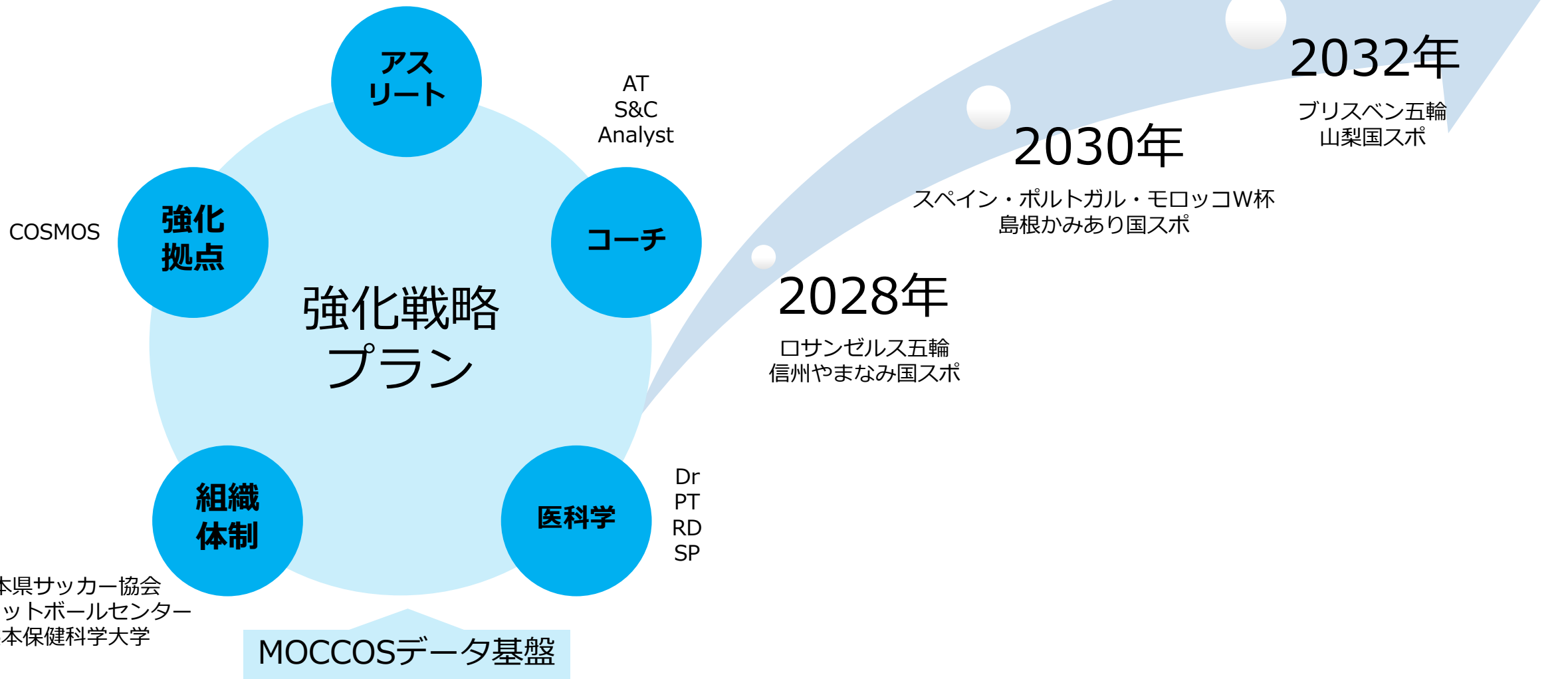
- 成長と成熟のタイミングや期間はトレーニングなどに大きな影響を及ぼす
- 選手の成長速度を知ることによって、適切なアプローチを行うことができる

成長期前：神経系トレーニング

成長期中：動きの質、コーディネーション

成長期後：ストレングス、プライオメトリック

MOCCOS フットボーラー育成



NEXT MOCCOS フットボーラー育成ロードマップ° (2026-2032)

